

平成28年度  
企画展

明治牧畜の率先者・廣澤安任

# 谷地頭から角筈へ

廣澤安任

ひろさわやすと

牧場の様子

淀橋浄水場要地の測量  
(東京都水道歴史館提供)

(左)アンドリュー・マキノ  
(右)アルフレッド・ルゼー

開催期間 平成28年5月20日(金)～8月21日(日)  
会場 先人記念館 企画展示室  
入館料 高校生以上 100円 小中学生 50円  
幼児以下 無料 ※毎週土曜日は小中学生無料  
休館日 毎週月曜日(月曜祝日の場合はその翌日)  
※ただし、7月22日(金)～8月21日(日)は夏休み期間のため休館なし  
主催 一般社団法人 三沢市観光協会

三沢市先人記念館

# ひろ さわ やす と う 明治牧畜の率先者・廣澤安任 つ の は ず 谷地頭から角筈へ

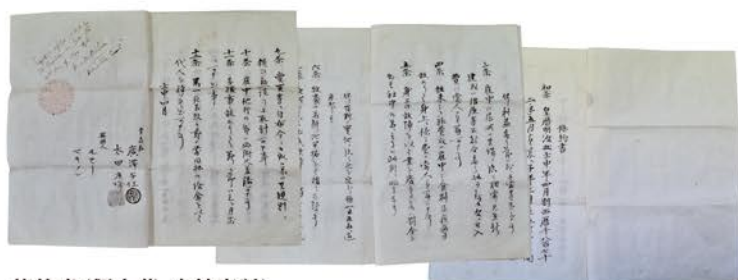
元会津藩士・廣澤安任は 2人の英国人アルフレッド・ルサーとアンドリュー・マキノンを採用し明治5年(1872)に現在の三沢市谷地頭に日本初の民間洋式牧場「開牧社」を開きました。安任は、マキノンからプラウやハローといった農機具やラカン(豚の塩漬け、ハム)やチーズの作り方を学び、新たな技術を取り入れて、明治維新後の生涯を牧畜業に捧げました。そして晩年には東京の角筈村(現在の新宿西口付近)にも新たな牧場を開き、牛乳販売所を設けて販路拡大を図りました。新宿では維新後から牛乳生産が盛んで、作家・芥川龍之介の実父新原敏三が開いた「耕牧舎」など、多くの業者が牛乳販売を行っていました。

明治23年6月2日付けの『國民新聞』に掲載された「牧畜家廣澤安任氏を訪ふ」という記事の中で安任を指して「我(が国)殖産の率先者たり」と記されており、翌 24年に安任が死去した後も牧畜への想いは形を変えて甥・廣澤弁二へ引き継がれて行きました。

本企画展では“率先者”安任の牧畜業への取り組みや角筈移住以後の安任にスポットを当てて紹介、展示します。



明治7年の牧場図



條約書(個人蔵、当館寄託)



今井良三牧場  
(新宿歴史博物館提供)



梅原要助牛乳販売所  
(新宿歴史博物館提供)



牧牛畚



養生法(個人蔵、当館寄託)

## 三沢市斗南藩記念観光村 先人記念館

お問い合わせ先  
〒033-0164  
青森県三沢市谷地頭4-298-652  
TEL 0176-59-3009  
FAX 0176-59-3045  
Eメール senjin@misawasi.com  
ホームページ  
http://kite-misawa.com/senjin\_misawa

アクセス  
三沢空港から車で20分/三沢駅から車で30分  
東北自動車道・第二みちのく有料道路  
三沢十和田下田ICから車で30分  
JR八戸駅から車で60分、  
JR青森駅から車で90分 ※夏期間の場合  
・青い森たびタクシー ・ぐるっとバス

